

クナシリ・メナシの戦いについて(8)

はじめに

今回も、新井田孫三郎が記した「寛政蝦夷亂取調日記」から、寛政元年（1789）7月20日の記録を見て行きます。この日も立ち会人として「ネチカネ」と「シトウケン」が詰め、「あつけし長人イコトエ、のつかまふ長人ショソング、くなしり長人ツキノエ」の3名に、くなしり、めなし両所の者を今日呼び出して尋ねる、と申し付けました。

すかな手当で日々使われ、
「自分働」も出来ず、越冬
食物が不足し難渋しました。
また、働きが悪いと薪で叩
かれたメノコが病氣になり、
間もなく死にました。アイ
ヌの女房に対する「密夫」
がひどく、申出をすればか
えつて「ツクナイ沙汰」に
なるので申し出が出来ませ
ん(各場所で同様の申口有)。
「稼ぎ方の者」が言うに
は、「銘々」が働くないと
は男女に限らず残らず絞殺
されると、薪取りの夷どもに
「留し」、当年より残らず夷
共を殺すと申し、イヌを縛
り川へ「沈殺」と申したこ
とから、シヤモ人が蝦夷共
を誅殺すると思いました。

から薪取りを申付けられ、その夜に稼ぎ方が無理に薬を飲ませ、そのまま殺しました。その後、庄次郎という者が、怪しい酒を長人木口エメキにくれましたが、甚だ心配だったので、毒味し飲んでみると申しまして、庄次郎の返事が無かつたので、「この酒を捨てました。」この酒を飲めば死んでしまうと思いました。

木口エメキが宝とする鍋二つを、稼方が見るために遣わしたところ、落として割れると申して返してくれず、「請取」を申し出ると却つて「非分の申掛け」をして、ツクナイ沙汰とあるので申し出る事が出来ません。

と、稼方の者共は土蔵を掘え、底に針を「敷建並」べ、その上の板を釣つたと「の」に長人達を「数多呼集」、土蔵で酒盛りをさせ、酔つたところで板を切落とし、残りの殺すと話していました。

「これにより、止むを得ず「数多申合」させて、シヤモ人を討ち殺しました」として「ホロエメキ」ほか23名が記され、「入牢」が申付けられました。なお、「いゑかれ」は予供が病氣で来ず、迎えに行き連れられる途中で、取り逃がしました。

にくれず難儀し、雇われ中は自分働きの、冬の鮭賄の支度も出来なかつたので、冬の間餓死するところでした。

また、同所支配人左兵衛が申すには、今年日付になられた勘兵衛様は「六ヶ敷」方で、蝦夷共の粕々の働きが悪ければ、米・酒・味噌に毒を入れ、主な夷を毒殺し、夷に「粕々頭取」を申付け、出精させるはずで、これに背いたら嶋の夷を残らず毒殺し、そこに町屋を拵え、江戸よりシャモ人を呼び、シャモ地にして商賣すると申していました。するとサンキチが「暇乞い」の酒で死に、マメキリの女房が運上屋の飯で死に、その後祝い餅も貰いにゆかず、通詞も虚病で参らなかつたので、マメキリは我らまで毒害されるのは遺恨でござります、と申しました。

これにより、止むを得ず「数多申合」させてシャモ人を討ち殺しました、として「マメキリ」以下14名が記され、都合37名が残らず入牢させられました。

めなし夷共申口

めなし徒党の内、シャモニ殺害に加わった者24人（「いゑかれ」）を呼び出し、あらかじめ調べておいた書付をもとに尋ねると、次のように答えました。

「めなし領しへつ」では、粕ヶ割合の「手宛」は一向に無く、「雇代」については、長人は米一俵にたばこ一把、ウタしは「多葉粉」半把に「間切」一丁と、わ

共を殺すと申し、イヌを縛り川へ「沈殺」と申した」とから、シャモ人が蝦夷共を誅殺すると思いました。

「めなし領ちうるい」では、大釜を置き、老若男女を粕と共に煮殺すと申し、子どもを背負つたメノコ一人を「稼方共」が釜に引き入れ煮殺すように見えたので、大勢の蝦夷が集まり助けて帰りました。

ツクナイ沙汰とするので申し出る事が出来ません。

「同領うえんべつ」では、女房が稼方の者と密夫したことが判明したので、稼方に密夫のツクナイを申し出ると、密夫していないと立腹し、鬱をひっぱりマキリで切らうとしたので仕方なく逃げ帰ると、また引き寄せ密夫しました。

同所で、「イマニ」という「めの」との密夫について、ツクナイを申し出る

くなしり「せせき」の支配人左兵衛は、「ぬの」を引き連れ「おもじるやうなが返出生」させました。

同所の手当は、長人が米糀こめこうじ3俵、ウタレは1~2俵、「ぬの」はたばこ1~3把とマキリ1丁で召し使われ、難渋しました。

「むしりけし」では、鮓

メ粕づくりで雪が降るまで働かされ、「雇代」は一向

くなしり蝦夷共申口

の酒で死に、マメキリの女房が運上屋の飯で死に、その後祝い餅も貰いにゆかず、通詞も虚病で参らなかつたので、マメキリは我らまで毒害されるのは遺恨で「やもいます」と申しました。

「これにより、止むを得ず「数多申合」させてシャモ人を討ち殺しました、として「マメキリ」以下14名が記され、都合37名が残らず入牢させられました。